

# 新潟大学研究推進機構超域学術院 研究プロジェクト 年次報告書（2010年度）

## （1）研究プロジェクト名

東部ユーラシア周縁世界の文化システムに関する資料学研究

## （2）研究プロジェクト構成員・職・氏名

リーダー 關尾史郎（人文社会・教育科学系・教授）  
メンバー 荻美津夫（人文社会・教育科学系・教授）  
池田哲夫（人文社会・教育科学系・教授）  
橋本博文（人文社会・教育科学系・教授）  
矢田俊文（人文社会・教育科学系・教授）  
原 直史（人文社会・教育科学系・教授）  
白石典之（研究推進機構超域学術院・教授）  
高橋秀樹（人文社会・教育科学系・教授）  
山内民博（人文社会・教育科学系・准教授）  
中林隆之（人文社会・教育科学系・准教授）  
堀 健彦（人文社会・教育科学系・准教授）  
佐藤貴保（研究推進機構超域学術院・准教授）  
岩本篤志（人文社会・教育科学系・助教）

## （3）研究成果の概要

### ①2010年度に設定した計画（何をどこまで行うか）

リーダーの關尾は、科学研究費補助金・基盤研究（A）のプロジェクトリーダーでもあるが、このプロジェクトには、本プロジェクトから荻・白石・高橋・中林・佐藤・岩本も分担者として参加している。したがって本プロジェクトと科研費プロジェクトを同時に進行することにより、①東部シルクロード地帯における文化交流・文化構造の問題と、②中国の周縁地域すなわち環東アジア地域における文字文化の環境・条件の問題を主として追究した。

### ②上記①の計画の進展状況

上記の問題のうち、①については、海外調査の成果を中国で開催された国際学会で報告し（關尾・荻・岩本）、さらに本学で開いた国際ワークショップで報告した（荻・高橋）。②の問題については、韓国で関連資料の閲覧を行った（關尾・中林）。

### ③上記①の計画の自己評価

目標をほぼ達成することができたが、本プロジェクトのメンバー全員による共同研究体制を構築することができなかった。これが今後の課題である。

### ④研究成果を踏まえた今後の研究計画

2011年度は、關尾の科研費プロジェクトが最終年度を迎えるので、本プロジェクトと共催で、年度末に国際ワークショップを2回ほど計画している。またそれを踏まえた論集の刊行も計画中である。①・②とも、新たな資料や史料集が刊行されているので、それに基づきデータベースを充実させながら、研究の深化を目指す。

また学系附置環東アジア研究センターの高度化推進ポストとしてベトナム史の蓮田隆志准教授が本年5月に赴任したので、東南アジア史(蓮田)・内陸アジア史(白石・佐藤)・朝鮮史(山内)・日本史(矢田・原)と、まさに環東アジア=東部ユーラシア周縁世界のほぼ全ての地域を網羅することになったので、比較史的な視点で、中世・近世を中心とした共同研究を深化させることが可能になった。これにより、遺された課題に取り組む。

### ⑤研究発表実績

#### ア 学会誌等

1. 關尾史郎「五胡時代の符について—トウルファン出土五胡文書分類試論(Ⅲ)—」『西北出土文献研究』第8号, 2010年5月.
2. 荻美津夫「陵王荒序の秘曲化について」『磯水絵先生還暦記念論文集』, 和泉書院, 2011年3月.
3. 池田哲夫「鳥獣研究者川口孫治郎と越後・佐渡—資料紹介『越後の鳥獣』より栗島野鳥探訪記—」『高志路』第378号, 2010年11月.
4. 橋本博文「越後の中期古墳—南魚沼市飯綱山古墳群を中心として—」『みなみうおぬま』第6号, 2011年3月.
5. 藤原 治・小野映介・矢田俊文・海津正倫・佐藤善輝・Vanessa Heyvaert「1498年明応地震による遠州灘沿岸浜名川流域の地形変化—掘削調査による地質学的検討—」『歴史地震』第25号, 2010年7月.
6. 矢田俊文・ト部厚志「1751年越後高田地震による被害分布と震源域の再検討」『資料学研究』第8号, 2011年3月.
6. 原 直史「地主史料からみた近世蒲原平野の米穀流通」『資料学研究』第8号, 2011年3月.
7. 原 直史「種芋原坂牧文書の調査・整理歴と中越地震」『災害と資料』第5号, 2011年2月.
8. 高橋秀樹「アフロディテ女神をめぐる宗教史の一断面—Ilias 5.311-431.からの展望—」『西洋史研究』第39号, 2010年11月.

9. 山内民博「朝鮮新式戸籍の基礎的検討(1) —忠清南道泰安郡新式戸籍関連資料—」『資料学研究』第8号, 2011年3月.
10. 中林隆之「日本古代の寺院資財管理と檀越」 栄原永遠男(編)『日本古代の王権と社会』, 塙書房, 2010年10月.
11. 中林隆之「石作氏の配置とその前提」『日本歴史』第751号, 2010年12月.
12. 堀 健彦「佐渡市所管地押調査更正地図の調整状況とその特徴」『国立歴史民俗博物館研究報告』第163号, 2011年3月.
13. 佐藤貴保「西夏法令集『天盛禁令』符牌関連条文訳注」(上)『西北出土文献研究』第8号, 2010年5月.
14. SATO Takayasu “Study of the Tangut(Xixia) code based on inspection of actual texts” 聶鴻音・孫伯君(編)『中国多文字時代的歴史文献研究』社会科学文献出版社, 2010年5月.
15. 佐藤貴保「現物実見調査に基づく西夏法令集『天盛禁令』条文の復元—巻9、第554-558条を例として—」荒川慎太郎他(編)『遼金西夏研究の現在』(3), 2010年6月.
16. 岩本篤志「杏雨書屋蔵「敦煌秘笈」概観—その構成と研究史—」『西北出土文献研究』第8号, 2010年5月.
17. 岩本篤志「東条琴台旧蔵『君公御蔵目録』小考—高田藩榊原家の資料群の変遷に関連して—」『汲古』第57号, 2010年6月.
18. 岩本篤志「敦煌占怪書『百恠図』考—杏雨書屋蔵敦煌秘笈本とフランス国立図書館蔵本を中心に—」『敦煌寫本研究年報』第5号, 2011年3月.
19. 岩本篤志「鶴岡藩・新発田藩蔵書目録小考」『資料学研究』第8号, 2011年3月.

#### イ 口頭発表

1. 關尾史郎「在高台県域内的古墓群与古代郡県制」, 高台魏晋墓与河西歴史文化国際国際学術研討会, 2010年8月13日.
2. 關尾史郎「甘肅省高台県の遺跡群と主要出土文物について」, 内陸アジア出土古文献研究会例会, 2010年12月18日.
3. 荻美津夫「從魏晋・五胡時代河西地区的磚画・壁画中看到的音楽描写」, 高台魏晋墓与河西歴史文化国際国際学術研討会, 2010年8月13日.
4. 橋本博文「佐渡の魅力と世界遺産登録への課題」, 文化財保存新潟県協議会平成22年度大会, 2010年11月21日.
5. 矢田俊文・ト部厚志・西山昭仁・佐竹健治「1828年三条地震による被害分布と震源域の再検討」, 日本地球惑星科学連合2010年大会, 2010年5月28日.
6. Akihito Nishiyama, Kenji Satake, Toshifumi Yata, Atsushi Urabe “Re-examination of the damage distribution and the source of the 1828 Sanjo Earthquake in central Japan”, 2010 AGU Fall Meeting, December 13 2010.

7. 白石典之「日本モンゴル考古学研究 20 周年をしめくくる」(モンゴル語), 日本・モンゴル考古学共同調査～ゴルバンゴル計画 20 周年記念講演会, 2010 年 10 月 30 日.
8. 中林隆之「古代君主制の特質と東アジア—葬儀と譲位をめぐって—」, 大阪歴史科学協議会例会, 2010 年 5 月 16 日.
9. 岩本篤志「敦煌秘笈「雑字一本」考」, 内陸アジア出土古文献研究会例会, 2010 年 6 月 19 日.
10. 岩本篤志「北朝隋唐時期的貴石印章和粟特人」, 高台魏晋墓与河西历史文化国際学術研討会 (ペーパー提出), 2010 年 8 月.
11. 岩本篤志「敦煌秘笈「雑字一本」考—雑字から見た敦煌の社会」, 唐代史研究会夏期シンポジウム, 2010 年 8 月 23 日.
12. 岩本篤志「敦煌占怪書『百怪図』考」, 中古時代的礼儀・宗教与制度学術研討会, 2010 年 11 月.

## ウ 出版物

1. 關尾史郎『もうひとつの敦煌—鎮墓瓶と画像磚の世界—』, 高志書院・新潟大学人文選書, 2011 年 3 月.
2. 橋本博文 (編)『群馬県・今井学校遺跡 2009 年の調査成果 リーフレット』, 新潟大学人文学部考古学研究室, 2010 年 7 月.
3. 橋本博文『竜塚古墳フォーラム記録集』(共著), 笛吹市教育委員会, 2011 年 3 月.
4. 矢田俊文『都市と城館の中世: 学融合研究の試み』(共編), 高志書院, 2010 年 4 月.
5. 矢田俊文『地震と中世の流通』, 高志書院, 2010 年 5 月.
6. 白石典之『チンギス・ハンの墓はどこだ?』, くもん出版, 2010 年 12 月.
7. 白石典之『北東アジアの歴史と文化』(共著), 北海道大学出版会, 2011 年 1 月.
8. 山内民博『世界史史料 4 東アジア・内陸アジア・東南アジア II』(共著), 岩波書店, 2010 年 11 月.
9. 堀 健彦『佐渡西三川の砂金山由来の農山村景観 保存調査報告書』(共著), 佐渡市世界遺産推進課, 2011 年 3 月.
10. 佐藤貴保 (共編)『日本蔵西夏文文献 上・下巻』, 中華書局, 2011 年 1 月.
11. 佐藤貴保『オアシス地域の歴史と環境—黒河が語るヒトと自然の 2000 年—』(共著), 勉誠出版, 2011 年 3 月.

## ◎競争的資金の応募・採択状況

### ア 2010 年 4 月時点で継続・新規のもの (科学研究費補助金)

1. 關尾史郎: 科学研究費補助金・基盤研究 (A)「出土資料群のデータベース化とそれを用いた中国古代史上の基層社会に関する多面的分析」, 2008~11 年度, 39,390 千円.
2. 荻美津夫: 科学研究費補助金・基盤研究 (C)「東アジア古代社会における音楽文化の比較社会文化史的研究」, 2009~11 年度, 2,500 千円.

3. 橋本博文：科学研究費補助金・基盤研究（C）「古墳時代豪族居館の変遷過程に関する研究」，2010～12年度，2,500千円。
4. 原直史：科学研究費補助金・基盤研究（C）「蔵ネットワークの観点からみる日本近世の流通構造とその変容の研究」，2009～11年度，2,860千円。
5. 白石典之：科学研究費補助金・基盤研究（A）「モンゴル帝国成立史の解明を目指した環境考古学的研究」，2010～15年，28,600千円。
6. 高橋秀樹：科学研究費補助金・基盤研究（C）「古代東地中海沿岸域の政治文化：集会・議論と権力の表象—ギリシアとエジプト—」，2009～11年度，2,990千円。
7. 山内民博：科学研究費補助金・基盤研究（C）「朝鮮新式戸籍に関する史料学的研究」，2008～12年度，3,000千円。
8. 中林隆之：科学研究費補助金・基盤研究（C）「経典目録よりみた古代国家の宗教編成策に関する多面的研究」，2010～12年度，3,250千円。
9. 堀健彦：科学研究費補助金・若手研究（A）「『新編会津風土記』を中核とした歴史GISの構築とその活用」，2008～11年度，19,500千円。
10. 佐藤貴保：科学研究費補助金・若手研究（B）「出土文献を用いた西夏王国の交通制度に関する研究」，2009～12年度，2,990千円。
11. 岩本篤志：科学研究費補助金・若手研究（B）「唐五代期における実用典籍の読者層の研究—中国西北出土古文献を中心に」，2009～12年度，4,030千円。

#### イ 2010年4月時点で継続・新規のもの（科学研究費補助金以外）

1. 白石典之：三菱財団人文科学研究助成「モンゴル帝国の成立過程の考古学的研究（II）」，2008～11年度，3,500千円。
2. 白石典之：文化財保護・芸術研究助成財団研究助成金「モンゴル国ヘンティ県所在碑文・岩画遺蹟の記録作成プロジェクト」，2009～12年度，2,000千円。
3. 白石典之：平和中島財団アジア地域重点学術研究助成「パクス・モンゴリカの源流～考古学からみたチンギス・カンの宗教政策～」，2010～11年度，1,945千円。
4. 佐藤貴保：財団法人三島海雲記念財団研究奨励金（人文科学部門）「西夏王国の軍制・部族制度の研究—西夏語軍籍文書群解読による—」，2009～10年度，700千円。
5. 岩本篤志：武田科学振興財団杏雨書屋研究奨励「敦煌本『新修本草』序例の研究」，2009～12年度，500千円。

#### ウ 2011年4月時点で新規のもの（科学研究費補助金）

1. 矢田俊文：科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究「想定東海地震地域における文書・絵図を基礎とした地盤変化の研究」，2011～12年度。

#### ⑦研究成果による知的財産権の出願・取得状況

該当なし

#### ⑧新聞等のメディアに掲載された事項

1. 橋本博文：2010年12月26日，新潟日報（朝刊）に「2010年度の新潟県内における考古学調査の成果」寄稿.
2. 白石典之：2010年5月8日，図書新聞に自編著『チンギス・カンの戒め』の書評記事.
3. 白石典之：2010年5月9日，日本経済新聞（全国版・朝刊）に自編著『チンギス・カンの戒め』の書評記事.
4. 白石典之：2010年5月23日，読売新聞（全国版・朝刊）に自編著『チンギス・カンの戒め』の書評記事.
5. 白石典之：2010年11月24日，読売新聞（全国版・朝刊）に研究紹介記事「蒼き狼の都 2010（上）：生活の痕跡 突然消える」.
6. 白石典之：2011年2月20日，読売新聞（全国版・朝刊）に自著『チンギス・ハンの墓はどこだ？』の書評記事.

**※プロジェクトが主催・共催したシンポジウム・ワークショップ**

1. 国際ワークショップ「磚画・壁画の東アジア」，2011年3月5日，新潟大学五十嵐キャンパス.